

学校法人大阪産業大学環境憲章

[基本理念]

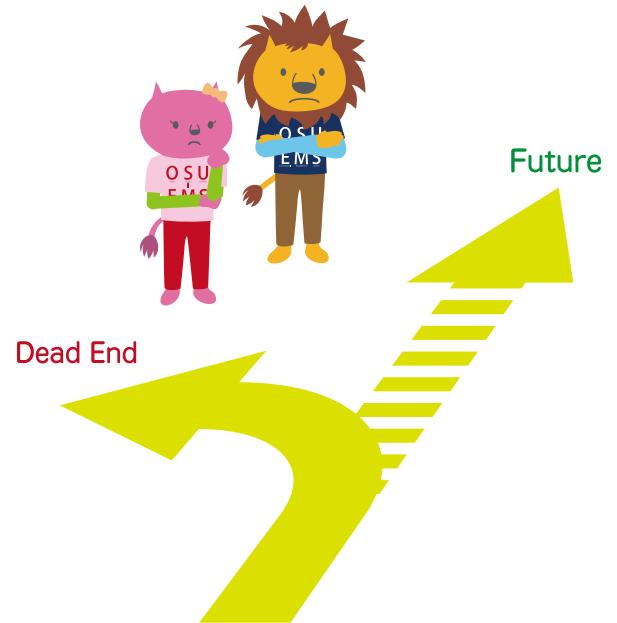
学校法人大阪産業大学は、「人間各自の使命を完全に果たし、それが生を享けた人間の生き甲斐である」とする創立の精神に基づいて、市民としての見識を高め、その成果を社会に還元することを目的と考えています。また、本学園は、地球環境の保全が21世紀の重要な課題であるとの認識を踏まえ、教職員、学生・生徒をはじめとする本学園の構成員が一体となって環境保全のための教育・研究に取り組み、学生・生徒の質の高い社会参加へと繋げ、地域社会との連携を図りつつ、持続可能な社会の実現に貢献します。

[環境方針]

1. 環境保全の活動を推進するため、
自己宣言型環境マネジメントシステムを構築します。
2. 汚染防止、廃棄物削減、省資源、省エネルギーによって、
環境負荷の低減に努めます。
3. 地域特性や文化・社会環境に配慮した総合的な環境教育
を行います。
4. 環境方針や環境保全の取り組みの成果を積極的に社会
に公開して、地域との連携を深めます。
5. アジア等諸外国の教育・研究機関との提携を通じ、
国際的な環境保全協力を進めます。
6. 環境保全に関する法律、規程、協定等を遵守し
環境の継続的改善に取り組みます。

EMSとは

人間は経済社会で活動する限り、少なからず地球環境に悪い影響を及ぼします。これを環境負荷といいます。EMS (Environmental Management System) は、人が集団で活動する組織において、その環境負荷をより小さくしていくための環境管理システムのことです。



OSU
Osaka Sangyo University
EMS
Environmental Management System

学校法人
大阪産業大学

私たちと一緒に始めませんか？

大阪産業大学環境マネジメントシステム(OSU-EMS)とは

学生、教員、職員が一丸となって本学での環境負荷を
少しでも小さくしていくためのシステムです。

その取り組みは個人の身近な心掛けでできるものから
設備更新などのインフラ整備まで、実に様々。

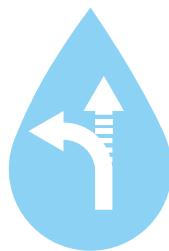
そんな地球環境保全につながる取り組みは、
21世紀を生きる私たちにとって重要な課題です。

さあ、今日から一緒に始めませんか。

今すぐできるはじめの一歩、あります。



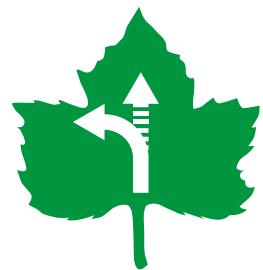
「電気」の
はじめの一歩
→P3 をご覧ください。



「水道」の
はじめの一歩
→P4 をご覧ください。



「ごみ」の
はじめの一歩
→P5 をご覧ください。



「買物」の
はじめの一歩
→P6 をご覧ください。





はじめの一歩

1 消費電力の削減 節電ポイント



教室を出る時は、
最後のあなたが照明を消しましょう。

- ・上の階や下の階、1~2階くらいの移動なら、なるべく階段を使いましょう。
- ・クールビズやウォームビズ。あなたのセンスと工夫でエコを楽しみましょう。



今、構内で実行していること

紙分別（人間環境学部事務室）



③ 不用になった紙はリサイクルしやすいように大きさ別に裏面が白・両面コピー・カラーの有無で分別しています。



はじめの一歩

2 水道使用量の抑制 節水ポイント



水道の蛇口はこまめに閉めて、
流しっぱなしをしないようにしましょう。

- ・水を浄化して、はるばると私たちの手元の蛇口に届けるために、水道はたくさんのエネルギーを使っています。
- トイレでは消音装置を使って、必要以上の水を流さない。これは地球へのエチケットです。

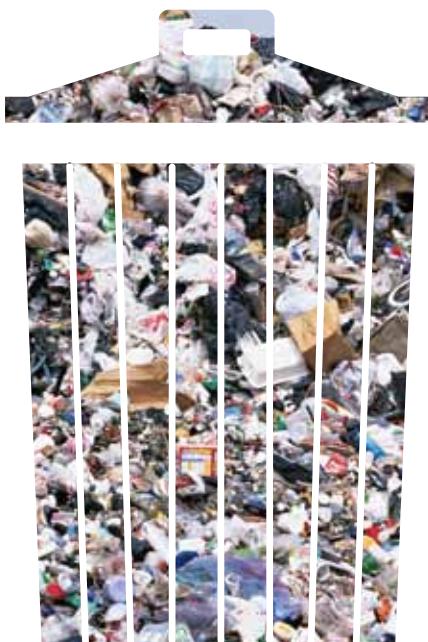


エアコンは
夏は28℃、
冬は20℃

人感センサー付トイレの設置



人が使用する時だけ点灯する照明や自動水栓は、省エネの第1歩です。



はじめの一歩

3 ごみ減量と再資源化 減らすコツ



いらない場合は断りましょう。
「袋、持っています」「カバー、いりません」

- ・大学の構内にも分別用のゴミ箱が何種類もあります。
- 「ビン・缶」「ペットボトル」「その他のごみ」はそれぞれのごみ箱に分けて捨てましょう。ペットボトルのキャップははずして、キャップ専用のごみ箱に入れてくださいね。



今、構内で実行していること

ごみ分別ボックスの設置



学内のごみ箱はビン・カン、ペットボトル、キャップとその他に分けています。
また場所に応じていろいろなタイプのごみ箱を置いています。

5

はじめの一歩

4 グリーン購入 買い物のコツ



マークをよく見て、
環境に良いものを選びましょう。

- ・製品は、環境への負担が少ない物を選びましょう。「長い間使える、入れ替え・詰め替えてくりかえし使える、製造過程で汚染物質が使われない、捨てる時に分別しやすい、処分にエネルギーが少なくてすむ」など。今使っているノートやペンも確かめてみましょう。



グリーン購入とは

製品やサービスを、環境負荷の小さいものを選んで購入すること。大学では、詰め替えインクのマーカーやリユーストナー、リサイクル文房具や再生紙トイレットペーパーのほか、間伐材プランターなどを選んで使っています。

リサイクルプランター



間伐材を使用した空気清浄効果のあるプランター。花を植えて学内の環境美化に貢献しています。

6

環境目標値



大阪産業大学は、環境負荷の中長期の削減目標を、以下のように設定しています。
学生、教職員が力を合わせてはじめて達成できる目標です。

中・長期目標



エネルギー

(1m²あたりの使用量)

2030年
(中期目標)

2050年
(長期目標)

25% 削減

80% 削減



水

(1人あたりの使用量)

2030年
(中期目標)

2050年
(長期目標)

25% 削減

60% 削減



一般廃棄物

(総量)

2030年
(中期目標)

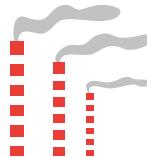
2050年
(長期目標)

25% 削減

60% 削減

2016年の目標と達成結果

目標



エネルギー消費量

(電気・ガス消費量原油換算値)

毎年1% 削減

達成結果

2016年(前年比)

2.33%

削減

(原油換算値)

考察と今後の課題

東日本大震災以降、大学構内のほとんどの建物で、電気・ガスの消費量は減少傾向にある。これは、節電意識の定着や、一部の部署での照明器具の買い替えによる省エネ化などの効果によるものと思われる。今後も全部署でのさらなる取り組みのほか、環境効率を見据えた計画的な設備更新、意識啓発の推進が求められよう。

大阪産業大学生の環境活動

本学では、学生が主体となって魅力ある24のテーマを教員とその中に環境に関する5つのテーマがあって、多くの学生がこのほかには、全学的に取り組む「工コ学園祭」も、環境活動の

共に掘り下げる「プロジェクト共育」を実施しています。参加しています。
大きな柱です。

ソーラーカープロジェクト



ソーラーカーの設計と開発を行い、開発した車両の性能評価と環境問題に関する社会への啓発活動をしています。

EVプロジェクト



ガソリン車の代替えとして環境にやさしいEVの開発・普及を目指しています。

エコ推進プロジェクト



川の清掃や緑化・美化活動を通じて緑あふれるキャンパスづくりを推進し、環境啓発活動を行います。

菜の花プロジェクト



菜の花の栽培から精製までの学びや作業を地域の人々と協力しながら体験、地球温暖化を防ぐバイオディーゼル燃料の普及をめざします。

森・川・田んぼプロジェクト



森、河川、田んぼを調査し、生きものどうしのつながり、人と自然のつながりを考え、身近な自然から原生的な自然までを再生します。

エコ学園祭



学園祭での環境啓発やゴミの削減を目的とし、環境に優しい祭りを目指す活動。すべての人々にゴミの分別を促す「エコステーション」も設置します。